

A
群16代
シービー

1999(平成11)年2月～
1999(平成11)年11月

体格はあまり大きくありませんでしたが、群れ間の争いなどの時は先頭に立ち、ねばり強く戦う仲間思いのボスでした。

17代
ジンギ

1999(平成11)年11月～
2000(平成12)年12月

大柄な体格に似合わず温厚な性格で、常に周りに気を遣うことから「ジンギ」と名付けられました。ボスに就任してすぐ、C群との争いで大怪我をした事がきっかけとなり、C群に対してかなり弱気になりました。

18代
ブラボー

2000(平成12)年12月～
2002(平成14)年6月

勇ましい風貌とは裏腹に、争い事が嫌いな性格で群れの間での争いの時は、いつも逃げ腰で臆病なボスでした。彼がボスに就任してからはC群との争いに連敗し、A群は2002(平成14)年5月中旬からサル寄せ場に出現しなくなりました。

B 群



初代 ホシ

1959(昭和34)年8月～
1965(昭和40)年8月

A群初代「ジュピター」時代に分派群を構成し、B群初代ボスとなりました。たくましい体格で、人間への攻撃も激しいものがありました。



2代 シロ

1965(昭和40)年8月～
1968(昭和43)年1月

初代ボス「ホシ」の片腕として働いていました。ボス就任後は、度々群れを留守にするなど、統率力に欠けていました。



3代 ヒビ

1968(昭和43)年1月～
1974(昭和49)年3月

平和主義者と言われるほどおっとりしていましたが、頑固な面もありました。仲間からの信頼が厚く、責任感の強いボスでした。

B
群4代
ナケ

1974(昭和49)年3月～
1974(昭和49)年7月

「上位のサルに反抗する」という許されない行動をとり、若くしてボスの座に就きましたが、就任後、短期間で姿を見せなくなりました。

5代
ピーナッツ

1974(昭和49)年7月～
1978(昭和53)年8月

温厚な性格で、幼年期から人間にもよく慣れ、親しまれていました。体つきがピーナッツに似ていることから、この名前がつきました。仲間の面倒見は抜群で、子ザル同士の争いでも仲裁をしていました。

6代
マッスル

1978(昭和53)年8月～
1983(昭和58)年8月

幼年期・少年期は、ガキ大将で子ザルたちの親分的存在でした。ボス就任後も群れの面倒をよく見て、ボスの重責を充分果たしました。

B群



7代 ゲンチ

1983(昭和58)年8月～
1986(昭和61)年3月

仲間からの信頼も厚く、人間に対しての厳しさは魅力的でA群・C群・B群と渡り歩いてボスの座に就いたのは、彼が初めてでした。



8代 ダーツ

1986(昭和61)年3月～
1987(昭和62)年10月

腕力で先代ボス「ゲンチ」を押しおきのボスの座に就きました。歴代ボス最年少(当時)で気性が荒く腕力は強いが、群れの統率力・指導力には少し欠けていました。



9代 ベンツ

1987(昭和62)年10月～
1990(平成2)年1月

先代ボス「ダーツ」が若くして急に行方不明になり、その後を継いだ歴代最年少ボス(当時)。C群に対する見張り・偵察行動が目につきました。

B
群

10代

ジョーカー

1990(平成2)年1月～

1991(平成3)年8月

副ボス時代からの、のんびりとした性格はボスになっても変化が見られず、あまりパツとしないボスでした。サル寄せ場では、いつも子ザルに囲まれていました。



11代

ドラゴン

1991(平成3)年8月～

1997(平成9)年2月

子ザルの頃、列車にはねられ右腕をなくしましたが、風格・統率力・闘争力に優れ、ボスと呼ぶにふさわしいサルでした。群れの仲間を守る行動はまさに名ボスと称されていました。



12代

イツセイ

1997(平成9)年2月～

1997(平成9)年12月

体格の小さいサルが多いB群の中では、目立って大きいサルでした。ボス就任時から群れを留守にする動きが確認されており、在位期間は非常に短いものでした。



13代

ムラサメ

1997(平成9)年12月～
1998(平成10)年9月

子ザルたちに人気があり、優しそうに見えるが、怒るととても迫力があり、眼光鋭く攻撃力は高かったようです。ボスになって半年頃から群れでの生活に落きつきがなくなり、姿を見せなくなりました。



14代

ゴルゴ

1998(平成10)年9月～
2009(平成21)年12月

11年3ヵ月と長きにわたり α オスの座を務めました。性格は温厚で少し気が小さいところがありました。



15代

タイガー

2010(平成22)年1月～
2012(平成24)年3月

高齢で α オスに就任したことの影響もあり、活発ではなく、性格的には大人しいサルでした。

B
群



16代

マコト

2012(平成24)年3月～

2014(平成26)年3月

威圧感があり、気性も激しく、職員やお客様にも攻撃していくような勢いのあるサルでした。反面、群れの中では子ザルを守っていました。



17代

ナンチュウ

2014(平成26)年3月～

2021(令和3)年7月

大分市立南大分中学校の生徒が名付けてくれました。迫力がある顔つきで、群れの仲間からは一目置かれていました。



18代

ヤケイ

2021(令和3)年7月～

高崎山の歴史を塗り替え、高崎山史上初めてメスザルで群れの第1位となりました。先代「ナンチュウ」を攻撃し、第1位の座を腕力で奪い取りました。

C群



初代

ヤマ

1964(昭和39)年3月～
1973(昭和48)年12月

A群2代目「タイタン」の時代に群れから分裂。C群構成後、統率力抜群で仲間からの信頼は厚く、副ボス以下のサルたちはヤマに協力を惜しみませんでした。

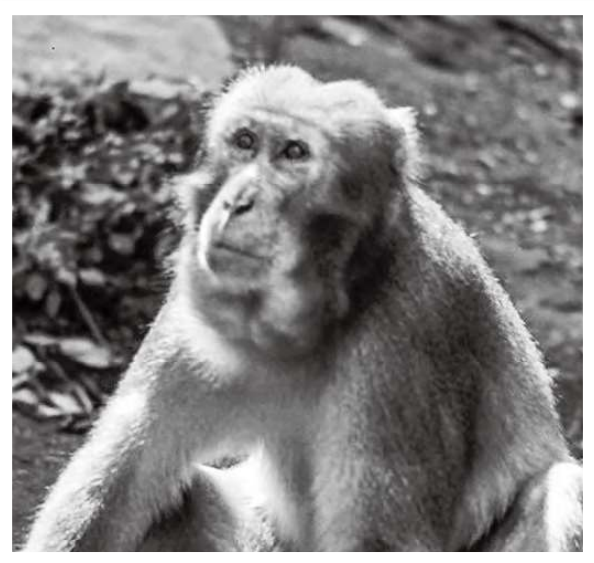


2代

シータク

1973(昭和48)年12月～
1975(昭和50)年7月

少年期、写真屋のモデルとして活躍しました。初代ボス「ヤマ」に比べて、統率力及び統制力に欠けたため、群れのまとまりが悪かったようです。



3代

ギャバン

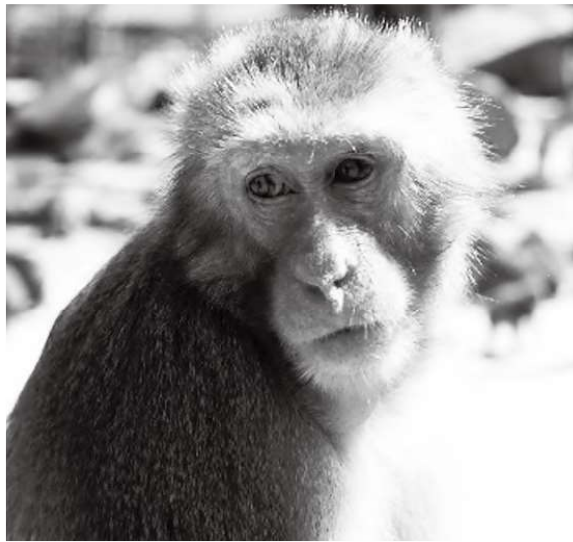
1975(昭和50)年7月～
1979(昭和54)年8月

初代ボス「ヤマ」が健在の時は目立たない存在でしたが、2代目ボス「シータク」の全盛期に頭角を現しました。根性がありボスの任務を十分に果たしました。

C
群4代
スター

1979(昭和54)年8月～
1981(昭和56)年12月

甘いマスクと恵まれた体格で人気・実力ともに抜群でした。B群のメスと恋に落ち、たびたび自分の群れを留守にしたためボスの座を失いました。

5代
ミック

1981(昭和56)年12月～
1989(平成元)年5月

先代ボス「スター」のおおらかな性格とは対照的に戦闘的で行動派であり、他の群れとの争いには常に先頭に立って群れのサルを守るといった、勇敢で仲間思いの、信望の厚いボスでした。

6代
バートン

1989(平成元)年5月～
1993(平成5)年9月

母親が群れのメス頭という影響を強く受けたためか、群れを一度も出ることなくボスになりました。(普通、オスは3～4才頃までに生まれた群れを離れる習性があります。)

C群



7代 ゲンタ

1993(平成5)年9月～
1998(平成10)年12月

A群7位の時、C群へ移籍。C群のオスの間では最下位でしたが、群れ間の争いには積極的に参加していました。順位が上がって高年齢になるにしたがって温厚になり、争い事を好まない平和主義者のボスとなりました。



8代 ゾロ

1998(平成10)年12月～
2011(平成23)年2月

バナナ事件(先代のボスへの差し入れのバナナを奪った)をきっかけに先代ボス「ゲンタ」と順位が入れ替わりボスに就任しました。歴代最長となる(2023年時点)13年10ヵ月にも及ぶ期間 α オスの地位に君臨していました。



9代 ベンツ

2011(平成23)年2月～
2014(平成26)年2月

高崎山史上初めてB群、C群と2つの群れでボスに就任しました。2013(平成25)年9月には失踪事件を起こし全国テレビで中継されるほど騒がれました。高崎山の名誉ボスとして、現在まで語り継がれています。

C
群10代
ゾロメ

2014(平成26)年2月～
2016(平成28)年5月

8代「ゾロ」の弟。攻撃性が強く、群れの間の争いの時は、先代「ベンツ」と共に群れの先頭に立って戦っていました。温厚な一面もあり、子ザルには非常に優しいサルでした。

11代
オオムギ

2016(平成28)年5月～
2017(平成29)年4月

先代、先々代と上手にお付き合いをしてきた八方美人的な性格でした。争い事を好まず、群れ同士の戦いが始まると、姿が見えなくなるほど臆病なサルでした。

12代
ブラック

2017(平成29)年4月～
2022(令和4)年3月

惚れ惚れするような黒い毛並みが特徴。2017(平成29)年のイケメンザル選挙で1位になりました。社会見学の子どもたちが大好きで、一緒に見学して歩く可愛らしい一面もありました。



13代
ロバート

2022(令和4)年3月～

突然キレてメスザルに咬みつくなど、激しい一面もありますが、メスザルの毛づくろいを積極的に行う心優しいオスザルです。顔は凛々しく2021(令和3)年、2022(令和4)年のイケメンザル選挙で連覇を果たしました。



伝説のボスザル ベンツ

第1号赤ちゃんザルの 名前と由来

2022(令和4)年
第1号赤ちゃんザル
「ピース」



出産年月日	群	母親	性別	名前	名前の由来
S59.5.2	A	リツ	♂	ユータロー	山口百恵さんの長男から
S60.5.5	A	スマレ	♂	ユキチ	1万円札の福沢諭吉から
S61.5.3	A	ハーフ	♂	ハレー	ハレー彗星群から
S62.4.28	A	ジュン	♀	エン	円高現象から
	A	スマレ	♂	タカ	
S63.5.8	A	ジュンホ	♀	ドーム	東京ドームから
H1.4.21	A	スマレ	♀	ミドリ	みどりの日が制定されたことから
H2.5.3	A	キノコ	♀	アース	地球環境保護デーから
H3.5.3	A	ヒナ	♂	ミール	宇宙船から
H4.5.3	B	ニテル	♂	イツワ	オリンピックから
H5.4.19	A	サフラン	♂	カズ	サッカーの三浦知良選手から
H6.4.22	A	ミレン	♀	ライス	米不足騒動から
H7.5.1	A	イトマン	♀	キボウ	オウム事件等の暗い話題が多かったので明るい社会を期待して
H8.4.28	A	ユウヒ	♀	ロード	大分自動車道が開通したため
H9.5.15	A	ウルカ	♂	ファイブ	消費税5%から
H10.4.14	C	コカゲ	♂	ゴールド	長野オリンピックの金メダルラッシュから
H11.5.12	A	ヒャクナ	♀	ユーロ	欧州通貨統合から
H12.4.30	A	ニット	♀	ミレ	2000年記念ミレニアムから
H13.5.5	A	パロマ	♂	トト	トトくじ発売を記念して
H14.4.20	A	タイクロ	♀	ワールド	サッカーワールドカップの開催を記念して
H15.5.16	B	オキョウ	♂	フィフティ	高崎山自然動物園開園50周年を記念して
H16.5.6	C	ミカコ	♀	オリンピア	アテネオリンピック開催にちなんで
H17.5.14	B	エーボン	♀	フク	自然災害が多かったことから多くの人々が幸福なることを願って
H18.4.24	C	ムービー	♀	アイ	子どもたちへの悲惨な事件が続くことから愛をもって育てて欲しいと願って
H19.5.14	B	デコボン	♀	メジロン	2008年の大分国体開催PRのため、マスコットキャラクターの「めじろん」にちなんで
H20.4.19	C	ムービー	♂	ゴーゴー	高崎山自然動物園開園55周年を記念して
H21.5.16	C	フミカ	♂	レンパ	第2回WBCで日本が2連覇した事を記念して
H22.4.17	C	ピアス	♀	クロマグロ	ワシントン条約締約国会議でクロマグロの取引を禁止する提案が出され話題となったため
H23.5.22	B	ヨイ	♂	キズナ	東日本大震災の復興にむけ、人と人を結ぶ「絆」による助け合いが必要なことから
H24.4.23	B	ハナキレ	♂	カモン	高崎山にカモン！というキャッチコピーから
H25.5.11	B	キミコ	♂	カンレキ	開園60周年にちなんで
H26.5.10	B	パンクーバー	♀	ソチ	ソチオリンピックにちなんで
H27.5.6	C	オフセ	♀	シャーロット	英国王室に誕生した「シャーロット・エリザベス・ダイアナ女王」に対する祝福の気持ちを表すとともに、NHK「マッサン」のヒロインを務めた女優「シャーロット・ケイト・フォックス」にちなんで
H28.5.4	C	ナナホシ	♀	リオ	リオオリンピックにちなんで
H29.5.11	C	カスタード	♀	ピコ	昨年から人気沸騰のピコ太郎さんにちなんで
H30.5.8	B	ダンダン	♀	ソダネ	オリンピックカーリング女子チームの口癖にちなんで
R1.5.6	B	キュート	♀	レイワ	令和への年号の変更にちなんで
R2.4.19	B	ツクヨ	♂	エール	コロナに負けずに頑張っていこうというメッセージを込めて
R3.5.2	B	ポコポコ	♀	アマビエ	コロナウィルスの収束を願って
R4.5.1	C	ネウタ	♂	ピース	世界平和を願って

※2013(平成25)年より、一般公募の中から命名。

TNZ選抜総選挙

(TNZ…Takasakiyama Natural Zoological garden)

2012（平成24）年より、高崎山自然動物園で、その年の人気ザルを決める「TNZ選抜総選挙」を行っています。2012（平成24）年は、「人気ザル頂上決戦」と題し、B群の「ピー」ちゃんとC群の「サシコ」ちゃんの一騎打ち形式で選挙を行いました。それ以降は毎年、多くの候補ザルを立てるようになり、現在では、メスザルや子ザルが候補となる「人気ザル部門」と、大人のオスザルが候補となる「イケメンザル部門」の2部門に分け、それぞれの部門10頭ずつでその年の1位を競い合っています。

選挙を通じて、これまであまり脚光を浴びることのなかったサルの魅力を多くの皆様に知っていただく機会となりました。近年では、候補となるサルをサル自身に決めてもらうなど、趣向を凝らしたイベントを開催しています。



2012アイドル頂上対決
第1位
サシコ

■ タイトルと概要

年度	タイトル	投票期間	結果発表日	概要
2012 (平成24)	アイドル頂上対決	2012年 5月22日～6月4日	2012年 6月6日	B群「ピー」ちゃん対C群「サシコ」ちゃんの高崎山のアイドル一騎打ちの形式で行いました。
2013 (平成25)	2013TNZ 人気ザル(♀)選抜総選挙	2013年 5月21日～6月7日	2013年 6月8日	メスザル16頭を選出し、神セブンを決めるなど本家AKB選抜総選挙のような本格的な選挙になりました。人間代表として職員も参戦しました。
	TNZ 高崎山イケメン(オスザル)総選挙 ～一番イケているのは誰だ～	2013年 12月1日～12月31日	2014年 1月3日	初めてオスザルをピックアップした総選挙を行いました。「ベンツ」が圧倒的な得票を得て1位になりました。
2014 (平成26)	2014TNZ 人気ザル(♀)選抜総選挙 ～人間はサルに勝てるのか？ キョウコ最後の戦いと 小学校からの推しエン(猿)～	2014年 5月20日～6月6日	2014年 6月7日	大分市内の小学校の児童に、出前授業の際に名前を付けてもらったサルを候補にしました。また、前年度の雪辱を果たすため職員も参戦しました。
	2014TNZ イケメン選抜総選挙 ～今回はガチで勝負!! 顔で選んで～	2014年12月20日～ 2015年1月12日	2015年 1月24日	前年は「ベンツ」が圧倒的な知名度で優勝したことから、この回は顔写真のみの掲載とし、まさにどのサルがイケメンかを競う選挙としました。
2015 (平成27)	2015TNZ 人気ザル(♀)&イケメン(♂) ダブル選抜総選挙	2015年12月25日～ 2016年1月16日	2016年 1月17日	前年度まで、夏季に開催していた人気ザルと、冬季に開催していたイケメンを初めて同時に開催することにしました。イケメン部門は写真のみの掲載とし、人間代表として職員も参戦したものの、選挙違反を行ったとして失格となりました。

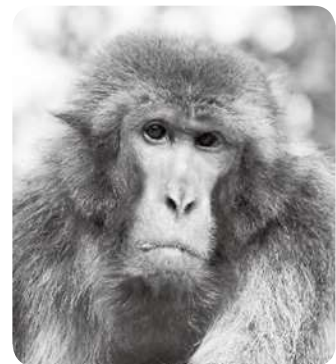
年度	タイトル	投票期間	結果 発表日	概要
2016 (平成28)	2016TNZ 人気ザル(♀)&イケメン(♂) ダブル選抜総選挙 ～あの懐かしのボスが… 今年もダブル選挙だ～	2016年12月23日～ 2017年1月22日	2017年 1月25日	イケメン部門の候補では、初代ボス「ジュビター」をはじめ、すべて過去のボスザル、αオスが候補となりました。結果としては「ベンツ」が1位となりました。
2017 (平成29)	2017TNZ イケメン&人気ザル&スタッフ トリプル選抜総選挙	2017年12月21日～ 2018年1月21日	2018年 1月24日	前年度まで、各部門16頭だったもの候補を、この年以降は各10頭に絞り込みました。さらに、この回のみ別にスタッフ部門を実施し、2名の職員が候補となり1対1の選挙をするなど、サルのみではない選挙を実施しました。
2018 (平成30)	2018TNZ トリプル選抜総選挙 ～スタッフ推しメン人気ザル(♀) &イケメン(♂)&キャラクター～	2018年12月22日～ 2019年1月22日	2019年 1月26日	職員が自分の推しメン(推しザル)をアピールするという、選挙戦を意識したものとなりました。たかもん等のキャラクターの選挙も同時に行い、サルに限らない選挙も行いました。
2019 (令和元)	サル通が選ぶ 2019TNZ選抜総選挙 ～イケメン(♂)&人気ザル～	2019年12月21日～ 2020年1月22日	2020年 1月25日	お客様が、高崎山のサルの中から自分の好きなサルを候補に推薦するという、お客様自身が自分の好みのサルを多くの皆様にPRできる選挙になりました。人気ザル部門では「シャーロット」が5回目の1位を記録し、現在でも(2023年時点)最多の1位記録となっています。
2020 (令和2)	2020TNZ選抜総選挙 ～ボスザルが選んだ サル達の熱き戦い～	2020年12月19日～ 2021年1月20日	2021年 1月23日	初めて候補ザル10頭をボスザルがクジを引いて決める事とし、マスコミ各社が取材をする中、ボスザルたちが次々と候補のクジを引き当てていきました。
2021 (令和3)	2021TNZ選抜総選挙 ～ヤケイが選んだ仲間たち～	2021年12月18日～ 2022年1月17日	2022年 1月22日	前年に引き続き、第1位(ボスザル)等のサルが候補の10頭を決めていくという形式にしました。特に、2021年にB群第1位になった「ヤケイ」が候補を決めるということに、マスコミなどから注目が集まりました。
2022 (令和4)	2022TNZ選抜総選挙 ～今イケてるサルが選んだ 仲間たち～	2022年12月17日～ 2023年1月16日	2023年 1月21日	イケメンザル部門10頭と人気ザル部門10頭に加え、開園70周年を記念して、高崎山自然動物園の職員が自身の心に残るサルを1頭ずつ選ぶ「回顧高崎山70!高崎山を彩った心に残るサル部門」10頭の合計3部門、全30頭による選挙を行いました。



2022TNZ選抜総選挙
人気ザル部門 第1位
シャーロット



2022TNZ選抜総選挙
イケメンザル部門 第1位
ロバート



2022TNZ選抜総選挙
心に残るサル部門 第1位
ベンツ